

## 特集

# “偶然性”を発見した人たち 安全基盤でこそ何かが起きる!

【対談】ねらうとうまくいかない

| 石川達也×星野概念

偶然がひらくOD | 星野概念

よい組織と偶然 | 高木俊介

自助グループ主宰者が考える

安全基盤と偶然性 | 横道 誠

不確実に耐えるとは | 藤原雅司

必然に縛られない身体 | 佐藤友亮

偶然がであう庭 | 鞍田愛希子

「まちに座る」と何かが起きる | 小畑あきら

偶然に身を任せてみる | 村瀬孝生

ぼくが大切にしている安全 | 坂口恭平

\*予定ですので、変更になる場合があります。

## 編集後記

生活工房で開催された信田さよ子さん、本多清見さん、山内泰さんの「自助グループとグループカウンセリング」セミナーを聞いて、その内容のラジカルさに興奮。その場で「掲載させていただきたい」とオファーし、本特集が実現しました。さらに、続きとも言える内容（「家族内に暴力・虐待があるとき、支援者はどのように家族に入れよいか」）を、5月10日に公開セミナーを開き、信田さんに話していただきました。こちらを含めて本として還元できればと考えています。御期待ください。▶書評家・渡辺スケザネさんによる新連載が始まりました。1992年生まれ、33歳の渡辺さんが中井久夫を語ることに衝撃を覚える方もいるかもしれませんが、天賦の才とはそういうものですね。精神科医や翻訳家などの専門家ではない立場だからこそ、俯瞰し、他と結びつけたりしながら、文筆家としての中井久夫を紹介できるのでは、というのがねらいです。（石川）

今春より『精神看護』の担当となりました平野裕一朗と申します。異動前は『医学界新聞』を担当し、さまざまな領域の記事に携わってききましたが、精神科領域は経験がなく、はじめてのことばかりで毎日新鮮な気分を味わっています。“まずは精神科にかかわることを知ることだ!”をモットーに今は勉強を重ねています。学会取材をはじめ、精神科病院、精神科訪問看護ステーション、就労継続支援B型事業所での実習を通して、現場を肌で学ぶ機会も多かったです。受け入れてくださった皆様に感謝申し上げます。今後も読者の皆様と共につくり上げる雑誌の路線を踏襲していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。（平野）

精神看護 第28巻第4号 2025年7月15日発行(隔月刊) 発行:株式会社医学書院 代表者:金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2025, Printed in Japan 販売・PR部: ☎03-3817-5664

『精神看護』編集室: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 平野・石川・小池 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン: 高見清史 (view from above) 表紙・目次写真: 齋藤陽道 印刷・製本: アイワード

1部定価: 1,650円(本体1,500円+税10%)

2025年年間購読料(送料弊社負担、年間6冊): 冊子版9,900円(本体9,000円+税10%) / 冊子+電子版(個人) 13,200円(本体12,000円+税10%) / 電子版(個人) 8,910円(本体8,100円+税10%)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

\*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。